



# 養父市

養父市農業の魅力発信

# 農業委員会だより



# No.4

令和3年8月  
発行



## 養父市農業の未来に向かって



今年、1951年の統計開始以来、最も早い梅雨入りとなりました。  
 平年よりも21日早い5月16日に梅雨入りしたため、田植えの時期と重なり、  
 農作業にご苦労された方も多かったのではないのでしょうか。  
 養父市農林振興課のとりまとめた水稻生産実施計画では令和3年度の水稻作付  
 面積は、昨年度よりも約9.4ha減少し約697.44haとなりました。  
 令和2年の視察研修は、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、丹波市  
 へ行ってきました。



第4号  
もくじ

- 丹波市視察研修 ..... 2・3
- お知らせ ..... 4

(撮影 坂本秀夫農業委員)

## 視察研修を実施

- 視察日時 令和2年11月20日
- 視察場所 丹波市立市島有機センター  
丹波市農業委員会

### 丹波市の概要

- 人口 64,150人
- 面積 493.21km<sup>2</sup>
- 山林 75.3%
- 農地 11.4%



**主な農産物(丹波三宝)** … 丹波大納言小豆・丹波栗・丹波黒大豆

**有機農業の歴史** … 市島有機農業研究会発足(1975年)から40年以上の歴史あり

**丹波市立農の学校** … 「有機農業を学び地域貢献することが国づくりにつながっている」という理念に基づき丹波市が設置し株式会社マイファームが運営(学長 西辻一真)



## ブランド化への取り組み

秋山 博 農業委員

丹波市への視察で私が感じたポイントは、ブランド化への取り組みです。

丹波市には、丹波有機の里づくり推進協議会があり、有機農業を目指す方を幅広く募集。行政と連携し、高品質な農産物の生産と販路の拡大を重点的に取り組まれています。

併せてブランド化を進めるため、市立農の学校(全日制)を設立、農産物の栽培から農業経営まで総合的な学習をすることができます。在学中から卒業まで、農地所得・補助金制度・農具貸出制度や技術・経営相談支援等、多岐にわたるサポートを受けられます。



西辻学長は「学んだ方が輝き、成長して地域の中心的存在になる事をゴールと考えている」と話されていました。

今後、養父市農業委員会も環境に配慮した農業や担い手の受入れとサポートできるよう市と連携し活動していきたいと感じました。

## 視察研修に参加して

西谷眞一 農業委員

研修に参加し印象に残ったこと、それは「丹波市立農<sup>みのり</sup>の学校」です。設置目的は「農業に係る研修室を設置し、就農を希望する若い世代に農業技術・経営知識を習得させるとともに、地域で暮らしていく社会性を育むことで多くの修了生が将来の丹波市農業・農村の担い手となり、地域への定住促進を図る」



ことです。カリキュラムは◇農業力（有機農業や慣行栽培の基礎知識等） ◇経営力（営農支援・販路確保・定住支援等） ◇地域力（親方農家のもと地域に溶け込んだ研修・地域農業者と交流することで独立後の相談相手確保）となっている。実習を中心に年間1,216時間と充実している。

なかでも注目したのは1期生15名（出身は1都2府6県から、内兵庫県は2名）のうち丹波市内で就農した者が8名にもものぼることだ。このことは養父市においても大いに希望が持てるということではないでしょうか。

## これからの農業

井上勝男 推進委員

農業を取り巻く環境は、農業従事者の減少、高齢化や後継者の確保に係る担い手の不足、耕作放棄地の増加等々、養父市と同じく厳しい状況である事を耳にする。私自身も先代からの農地を守っていただけで精一杯と考えていますが、これから先は何も見えてきません。視察資料に改めて目を通すと、営農組織というほどではなく、農業者数人でグループ化をし、資材・農業機械等の共同購入やシェアリング、作業の相互補助、共同販売等を進めることで、農作業も軽減できるかもしれないと考えました。（リーダーシップをとれる人が必要となりますが）

また、丹波市農業委員会さんから、モグラ退治に効く「ガム」を紹介いただきました。それは『オレンジガム』です。これを手の臭いがしない様に手袋をして、モグラの穴に少し噛んでから2～3個入れて置くと死んじゃうそうですヨ。



# お知らせ



## 1. 活動報告

### ● 市長へ意見書を提出

農業委員会は農業施策に関する意見を市へ提出することが法律により定められています。養父市農業委員会でも、各委員からの提案をもとに協議し、とりまとめ、意見書として7月13日に市長へ提出しました。意見書では担い手の確保と耕作放棄地の解消を重点課題とし、以下の6つの提案を行いました。

- 提案1** 新規就農者への支援
- 提案2** 新規就農者確保の強化
- 提案3** 農業用機械・施設の整備支援
- 提案4** 鳥獣害及び小動物被害対策支援
- 提案5** 農業機械等運転免許取得支援
- 提案6** 有機JAS認証取得支援



6つの提案が実現できれば、より「日本一農業しやすいまち」の実現に近づくはずですよ

意見書はHPに掲載しておりますので是非ご覧ください。



## 2. 活動予定

### ● 農地パトロールを予定

農業委員会は、年に1度は農地パトロールにより状況を確認することとなっています。養父市農業委員会では、7～10月に実施します。確認のために農地内へ立ち入ることや、区長・農会長さんへ照会等をする但也有ありますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、農地パトロールの詳細については『農業委員会だより Vol1』に記載しております。お持ちでない方はホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

養父市農業委員会だより

検索



### ● 意見交換会を予定

養父市農業委員会では、毎年12月頃に認定農業者や集落営農等との意見交換会を実施しています。

### ● 食味会を予定

養父市農業委員会では、毎年12月頃に市内産のお米を食べ比べる食味会を実施しています。

※意見交換会と食味会の開催については、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら実施にむけ検討しているところです。